

記者発表資料

発表先 石川県政記者クラブ

平成19年 6月29日

扱い 配布を持って解禁



「手取川（和佐谷地区）築堤護岸」完成記念式典が開催されます。

平成19年3月に、能美市和佐谷地区の一連の堤防が完成し、無堤区間が解消されました。当事業の完成により、和佐谷地区において100年に1回程度の計画規模の洪水が発生しても、安全に洪水を流すことができ、同地区31世帯の住民の方々の生命と財産を守ることが出来ます。

今回、和佐谷築堤護岸完成を記念し、能美市の主催により国、県、市の関係者を招いての完成記念式典が下記のとおり開催されます。

記

1. 日 時 平成19年6月30日（土）13：30～14：10
2. 場 所 石川県能美市和佐谷地区「現地式典会場」
（手取川山上郷大橋詰め左岸下流）
3. 事業概要 添付資料

【問い合わせ先】

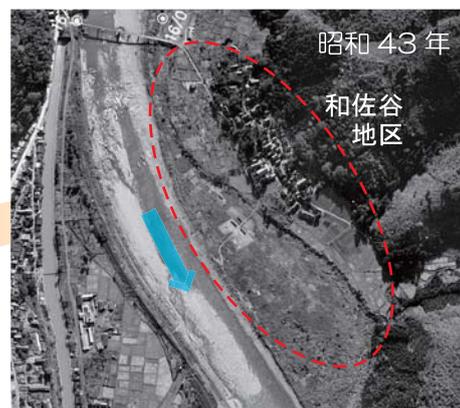
国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
調査第一課長 氏名 万行 康文
TEL : 076-264-8800（代表）

手取川・和佐谷築堤護岸が完成しました ～無堤防区間の解消～



事業概要

実施期間	昭和 46 年度～平成 18 年度
築 堤	750m
高水護岸	750m
樋 管	1 基
用地補償	0.38ha
総事業費	約 9.4 億円



平成 19 年 3 月に、能美市和佐谷地区の一連の堤防が完成し、無堤区間が解消されました。

当事業は、昭和 46 年に着手し、一時中断した時期がありましたが、平成 19 年 3 月に一連の堤防が完成しました。

当事業の完成により、和佐谷地区において計画高水流量※(鶴来地点：5,000m³/s) を安全に流すことができ、同地区 31 世帯の住民の方々の生命と財産を洪水氾濫から守ることが出来ます。併せて、重要水防箇所としての位置づけも解消されます。

※ 計画高水流量

手取川流域において 100 年に 1 回程度の大雨が降った場合に、そのまま河川に流れ出る洪水に対して、上流の手取川ダム・大日川ダムの洪水調節効果を考慮した上で、計画上流下する洪水流量(鶴来地点で 5,000m³/s) のこと。

和佐谷地区の自然環境

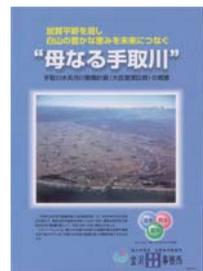
和佐谷は山地と接する場所であり、渓流性のニッコウイワナ、ヤマメ、カジカガエル、ハコネサンショウウオや山地を主な生息場とするテンやイタチ等の動物が確認されています。周辺植生はオニグルミ林であり、谷沿いの水際には抽水植物であるツルヨシが分布している。なお、オニグルミ林の林床には山野に生育するニリンソウ等も見られます。



手取川水系河川整備計画（大臣管理区間）

手取川水系河川整備計画（大臣管理区間）が平成 18 年 12 月に策定されました。

手取川水系河川整備計画は、平成 9 年の河川法改正を受けて、概ね 30 年間の関係住民の意見を反映した治水・利水・環境の総合的で具体的な河川整備計画を定めたものです。



手取川水系河川整備計画
パンフレット

お問い合わせ先

国土交通省 金沢河川国道事務所 調査第一課
金沢市西念4丁目23番5号
TEL (076) 264-8800 (代表)
ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所